

塩竈市立病院改革プラン
平成21年度上半期の評価について

平成 22 年 1 月 22 日

塩竈市立病院改革プラン評価委員会

塩竈市立病院改革プラン評価委員会 委員名簿

(順不同 敬称略)

	委員名	職名等	備考
1	本郷 道夫	東北大学医学部教授	委員長
2	横山 義正	宮城県塩釜医師会会長	副委員長
3	鳥越 紘二	宮城県塩釜医師会副会長	
4	山本 雅伸	宮城県保健福祉部医療整備課長	
5	鹿野 和男	宮城県塩釜保健所所長	
6	高橋 俊宏	(財)宮城県成人病予防協会顧問、元みやぎ 県南中核病院事務部長	
7	須藤三枝子	市民代表 (看護師)	
8	内形 繁夫	塩竈市副市長	
9	伊藤 喜和	塩竈市立病院院長	

評価委員会委員による評価

(1) 取り組み状況の評価

1. 経営の効率化

【評価】

経営方針の明確化により職員の意識改革を進めて、具体的に経営効率化の取り組みを行い、前年度の赤字に対して21年9月期で約1,700万円の黒字に転換した実績は高く評価できる。

具体的な項目として、次が挙げられる。

- ①総合診療室の設置による初診と救急患者の積極的な受け入れ
- ②地域医療連携の推進による紹介患者数が増加したことによるCT・MRI件数の増加
- ③外来パスの導入による検査オーダーなどの確実な実施
- ④院内連携の円滑化によるスムーズな入退院と在宅患者数の増加
- ⑤人間ドック・脳ドック・健診事業への積極的な取り組み

【今後改善を望む事項など】

全職員一丸となり、以下の項目について更なる改善を期待する。

- ①開業医とのセミナーや救急隊との定期連絡会などの開催による地域との連携強化
- ②費用面では材料費・人件費などの削減努力

2. 再編・ネットワーク化

【評価】

具体的に以下の点で評価できる。

- ①診療機能の明確化を行うと同時に、仙台医療センターを始めとする近隣病院との連携推進や在宅医療への取り組み
- ②数回にわたる市民公開セミナーの開催
- ③路線バスの乗り入れ

【今後改善を望む事項など】

以下の項目について更に積極的な取り組みを期待する。

- ①近隣の病院や開業医との更なる連携強化による地域全体の医療体制のネットワーク化
- ②「在宅診療支援」についての具体的な取り組み
- ③医療の現状と健康講座についての定期的な公開セミナー開催による市民への更なるアピール

3. 経営形態の見直し

【評価】

来春に向けて地方公営企業の全部適用と給与制度の見直しの取り組みを開始したことは評価できる。

また、全適への移行後も職員が希望を持てるような運用を行ってほしい。

その一方で、現状でも経営が改善している中で、全適への移行がどうなのか現時点ではわからないので、評価は今後の経過を見てからという意見もあった。

【今後改善を望む事項など】

全適移行にあたって以下が課題として挙げられる。

- ①事業管理者の明確なビジョンと強いリーダーシップ、並びに職員の意識改革
- ②職員への説明に努め、理解を得ること
- ③給与制度の見直し。特に、経営状況に応じた勤勉手当を可能にすること

(2) 総合的な所見

1. 期待される地域医療の役割を果たしているか

【評価できる点】

- ①時間外及び救急患者の積極的受け入れと在宅医療への取り組み
- ②総合診療科の設置や地域医療連携室を通じての院内外での医療連携への取り組み
- ③消化器系疾患を中心とした急性期病院としての役割

【努力を求めたい点】

- ①地域の中核病院として、救急患者の受け入れへの一層の努力
- ②一次トリアージ的な役割を果たすうえでの受け入れ可能な救急機能の明確化
- ③旧塩釜医療圏における救急医療体制のさらなる推進に向け、当該医療圏の構成市町や関係機関の主導による体制整備
- ④今後さらに増加する高齢者医療の推進や在宅診療支援など地域に根ざした医療の実施
- ⑤内視鏡検査を増やすための積極的な取り組み
- ⑥住民への病院の特色のアピールとサービス
- ⑦開業医との話し合いの場の設定

2. 総合的に積極的に経営改善に取り組んだか

【評価できる点】

- ①職員の意識の高まりと入院患者や外来患者の増加等による収益の増加
- ②病床数の削減による病床利用率の大幅な改善
- ③CT・MRIなどの高度医療機器の稼働率向上
- ④人間ドック・健康診断などの実績

【努力を求めたい点】

- ①薬品の在庫圧縮は評価できるが、材料費の更なる削減努力
- ②給与制度見直しによる人件費の削減
- ③幹部職員の熱意は感じ取れるが、若手医師や一般職員などのさらなる積極性
- ④後発薬品についての安全性や品質のデータ管理

3. その他改革プランに対する総合的な所見

改革プラン策定時の改善項目については、努力の成果もあがっており高く評価できるが、以下の点でさらなる努力を求めたい。

【努力を求めたい点】

- ①23年度経常収支黒字化のため、なお一層の急性期患者の受け入れ、診療単価のアップ、同時に支出の削減
- ②給与制度などに関する積極的な提言
- ③市民への啓発、積極的な情報提供
- ④近隣医療機関との研修事業の推進
- ⑤経営健全化に向けての、なお一層の取り組み体制の整備
- ⑥全適移行の意味・意義などの病院職員への周知徹底